



★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 422 号 ★★★2023.03.01

■■■ 公益財団法人がん研究会 ポスドク・研究員・大学院生募集のご案内 ■■■

日本プロテオーム学会員の皆様

公益財団法人がん研究会の植田幸嗣先生よりポスドク・研究員・大学院生募集の案内が届きましたのでご連絡いたします。

皆様の周りの方でご興味のある方がいらっしゃいましたらご案内ください。

よろしく願いいたします。

日本プロテオーム学会事務局

ポスドク・研究員募集のご案内(公益財団法人がん研究会)

募集職種・人数

ポスドク、特任研究員、大学院生 2 名まで

職務内容

がん研究会・がんプレジジョン医療研究センターでは、最先端のプロテオーム解析技術を駆使して、新たながん診断技術(リキッドバイオプシー)開発やがん免疫療法の開発を行っています。

当センターの研究環境について特筆すべき点は、国内最大規模のがん専門病院であるがん研有明病院と物理的に繋がった構造となっており、臨床医や病理医、そしてがん患者様と絶えず協力し合いながら、それぞれの要望をリアルタイムに意見交換しつつ本当に患者様たちが求める研究開発を実施できることです。当研究室でも多くの患者様、医師の協力を得て豊富な症例数の組織や血液の解析を実施することができています。

本公募では、ここ数年力を入れている、ゲノム解析とプロテオーム解析を融合したプロテオゲノミクス解析研究に携わって頂ける研究者を募集します。がん研究会では大学院生の受入れ指導も行っております(現在当ラボには3名在籍中)。次世代シーケンサーのデータから患者個別の遺伝子変異を含むタンパク質配列データを作成し、プロテオーム解析によりそうした遺伝子異常に由来する産物も同定する手法です。

この分野はインフォマティクスをはじめ複数分野間の協働が必要なこともあり世界的にも黎明期と言ったところですが、当研究室ではラボ内、センター内の連携により個別化プロテオゲノミクス研究を実現しています。

こうした手法を用いて、血液中を循環する細胞外分泌小胞(エクソソーム)に含まれるがん由来変異タンパク質検出に基づく新しいがんリキッドバイオプシー技術開発に挑戦してくれる仲間を募集します。

この機会にプロテオーム解析のみならず、次世代シーケンサーを用いたゲノム解析、情報解析にも触れ、学びたいという意欲のある方、お待ちしております。意欲さえあれば経験は問いません。国内、海外の学会関連費用は年会費含め全て支給しますので学会にも積極的に参加して外部研究者間交流も深めてもらいます。

最後に、自身の研究成果で現在、未来のがん患者様を救いたいと本気で考えながら研究できる方を求めます。

勤務地

公益財団法人がん研究会
がんプレジジョン医療研究センター
がんオーダーメイド医療開発プロジェクト

東京都江東区有明 3-8-31

詳細

https://jrcin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D123010382&ln_jor=0

問い合わせ先

公益財団法人がん研究会
がんプレジジョン医療研究センター
がんオーダーメイド医療開発プロジェクト
植田 幸嗣

Koji.ueda@jfc.or.jp (←まずはこちらまで面接希望のメールをお送りください。)

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局(info@jhupo.org)にお願いいたします。
